

電気通信大学 平成20年度シラバス

| | | | |
|---------|------------------------------|----------|-------|
| 授業科目名 | 金融情報システム | | |
| 英文授業科目名 | Financial Information System | | |
| 開講年度 | 2008年度 | 開講年次 | 3年次 |
| 開講学期 | 後学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | 講義 | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 専門科目-学科専門科目-選択科目 | | |
| 開講学科・専攻 | システム工学科 | | |
| 担当教官名 | 宮崎 浩一 | | |
| 居室 | 西5-503 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|--|
| 【主題および達成目標】 |
| <p>(a)主題</p> <p>(1)コーポレートファイナンス理論、債券・株式投資理論の全体像を知ると共に、その基礎となる考え方を理解する。</p> <p>(2)金融市場がどのような理由でどのように動いていくのかを市場予測を行なうことで体得する。</p> <p>(3)日本経済新聞の内容が理解できる程度の金融経済用語を習得する。</p> <p>この科目は、経営工学分野の中の金融工学に関する基礎的知識を学習するために設けられている。</p> <p>(b)達成目標：</p> <p>(1)NPVに基づきプロジェクトの選択ができる。</p> <p>(2)株式のリスクリターンを理解して利用することができる。</p> <p>(3)最適ポートフォリオを導出して有効的フロンティアを描くことができる</p> <p>(4)債券のリスク・リターンを理解して利用することができる。</p> <p>(5)信用リスクを理解することができる。</p> <p>(6)オプションの基礎的事項を理解することができる。</p> |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| なし |

| |
|---------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| オペレーションズ・リサーチA , オペレーションズ・リサーチB |

| |
|---------------------------|
| 【教科書等】 |
| 宮崎浩一 著、証券分析への招待 サイエンティスト社 |

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

| | |
|---------|-----------------------|
| 第一回 | イントロダクション |
| 第二回～三回 | 債券数学への招待 |
| 第四回～六回 | 債券投資におけるリスクリターン分析 |
| 第七回～八回 | 株式のリスク・リターンとポートフォリオ投資 |
| 第九回 | 中間試験 |
| 第十回～十三回 | オプション理論 |

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：

出席点： 一回2点（市場予測レポート提出）

市場予測： 的確な予想2点

中間試験： 満点50点

期末試験： 満点30点

上記の合計点で決める。

(b)評価基準：

達成目標に記した事項をある程度理解したといえる水準、

上記試験の合計点が60点以上であることが合格の基準である。

【オフィスアワー：授業相談】

金曜日：16:00-18:00

【学生へのメッセージ】

実際に世の中で経営経済がどのように動いているかを
日経新聞から学ぶと共に、それらを説明する基礎的な事項や概念を学ぼう。

【その他】